

水道施設の耐震化状況及び耐震診断結果

(平成24年3月現在)

基幹管路

	管路全体	耐震管路	DIP管K形継手の内、耐震性能を満たす管路	耐震適合性がある管路
管路延長	8,985 km	4,293 km	4,041 km	8,334 km
割合	100 %	48 %	45 %	93 %

耐震管路:ダクタイル鋳鉄管の内、S形、S形、NS形、GX形、及び鋼管(溶接継手)、ポリエチレン管(融着継手)をいう。

DIP管K形継手の内、耐震性能を満たす管路:K形のDIPは、地盤が良い場所では耐震性能がある管とされているため、布設されている地盤により検証を行い、耐震適合性のある管路としている。

配水池

(200m³以上)

配水池名称	耐震診断結果	耐震化・更新計画年度
五和配水池	対策が必要	平成25・26年度
大代配水池	診断不要	
栗島配水池	診断不要	
下坂配水池(西)	対策が必要	平成28年度
下坂配水池(東)	対策が必要	平成28年度
牧之原配水地(高区)	診断不要	
牧之原配水地(低区)	診断不要	
金谷配水池	診断不要	
猪土居配水池(東)	対策実施済み	
猪土居配水池(西)	対策が必要	未定

診断不要:建設時の基準が、現在と同様の耐震強度である為、診断が不要な施設